

令和5年度 学校評価(教職員) 4:よくあてはまる 3:だいたいあてはまる 2:あまりあてはまらない 1:あてはまらない	平均点
1 学校教育目標を共通理解して学級経営方針を立てる。	3.50
2 特別支援教育や人権教育の視点を大切にし、子どもの特性と気持ちに寄り添う。	3.11
3 学級経営方針に沿って、中長期に渡る意図的、計画的な学級づくりを進める。	3.13
4 子どもの疑問をもとに、学習課題に取り組めるようにする。	3.13
5 子どもが自ら考え、自己を振り返る時間を確保する。(はじめとおわりのひとり学び)	2.75
6 朝の話と教科学習のつながりを意識して、子ども同士が関わり合い、対話のある授業づくりを工夫する。	3.00
7 決めたことを最後までやり抜ける子どもを育てる。	3.11
8 自他の良さを知り、自分や学級、学校をよりよくしようとする態度を育てる。	3.11
9 生活ルールを守って、気持ちのよい行動ができる子どもを育てる。(あいさつ、5分前行動、もくもくそうじ、言葉づかい)	3.11
10 自分の生活を客観的に見つめ、自律的に生活できる子どもを育てる。	2.56
11 仲間と共に体を動かすことを楽しむ子どもを育てる。	3.22
12 読書に親しむ子どもを育てる。	2.56
13 学びが深められる環境づくりを行う。(時期に応じた掲示物、学びの足跡が見える掲示物、整理整頓された室内など)	3.00
14 各種通信やHP、学校オープンにより、保護者や地域に学校情報を積極的に発信する。	3.22
15 学校の教育活動を円滑に進めるため、保護者との連絡を密に行い、共通理解を図る。	3.22
16 授業や行事などで地域や外部人材と連携するとともに、子どもの感謝する心を育む。	3.56
17 タ打ちの活用や協議事項の焦点化により、会議時間の短縮を図る。	3.11
18 自身の健康や子どもと向き合う時間の確保のため、見通しを持って効率的に職務を遂行する。	2.56
19 危機管理意識を高く持ち、常に子どもの安全に配慮した安全・安心な学校づくりをめざす。	3.00